令和７年度
琉球大学大学院医学研究科（博士課程）研究科
学生募集要項

一般、社会人及び外国人留学生志願者、入学資格の認定による志願者の出願日程は、以下のとおりです。募集人員に満たなかった場合は第２次募集を行います。

【一般入試、社会人入試及び外国人留学生入試】

	第１次募集	第２次募集
出願期間	令和６年７月31日～８月７日	令和７年１月21日～１月28日
試　　験	令和６年９月28日	令和７年２月15日
合格者発表	令和６年10月21日	令和７年３月13日

令和６年６月

琉球大学大学院　医学研究科

目　　次

１．研究科概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
２．募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
３．出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
４．出願資格審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
５．出願期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
６．出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
７．研究指導に関する事前相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
８．試験の日時及び場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
９．選抜方法（入試科目）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
10．障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）・・・・・・・ 8
11．合格者発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
12．入学手続等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
13．安全保障輸出管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
14．修学のための諸制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
15．個人情報の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
16．「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン（琉球大学大学院コース）」について・・・・11
17．２次募集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
18．問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
19．入試統計（志願者数、合格者数）の公開・・・・・・・・・・・・・・・・・12
20．過去問の開示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
21．博士課程（医学専攻）の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
22．研究指導教員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

１．研究科概要

（１）目的

琉球大学大学院医学研究科（博士課程）は、医学の分野において、自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備え、かつ、教育・研究及び診察の分野で指導的役割を担う人材の養成を図り、医学の進歩と国民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

（２）３つのポリシー

【アドミッションポリシー】

（博士課程）

１　生命医療科学における次世代のリーダーを目指して深い学識と先駆的な研究能力を培い、国際的な場で活躍する研究者・教育者を志す人

２　先端的医療を実践するために高度な知識や技術を身につけ、研究マインドを備え、高度専門職業人として地域の医学・医療水準の向上のために指導的な役割を担える臨床医を目指す人

【カリキュラム･ポリシー】

１　正しい倫理観を基盤に置き、研究分野間の有機的な連携を構築する教育を行います。

２　包括的で多様な知識や技術の獲得を促す学生指導を行います。

３　国際的な活躍、かつ、リーダーシップを発揮する高度な人材を育成するため、異分野横断的な大学院プログラムを展開します。

４　最新の生命科学の知識を提供します。

【ディプロマ･ポリシー】

（修士・博士課程共通）

本プログラムは、琉球大学の「自由平等、寛容平和」の建学の精神の下、本学の大学院学習教育目標 URGCC-Advanced（琉大グローバルシティズン・カリキュラム・アドバンスド）に掲げる「専門性」「創造性」「倫理性」を身に付けさせるため、研究科の専門分野の特色と人材養成目的に基づいて、研究・生命科学・医分野において、正しい倫理観を備えた人材を育成します。

（博士課程）

１　より広範な学識や技術、臨床能力を有し、高度専門職業人として、使命遂行に貢献できます。

２　研究成果を世界展開できます。

３　医療の高度化と医療関連産業の活性化に貢献できます。

４　亜熱帯・島嶼地域に潜在する医療問題に取り組み、解決できます。

５　異分野間のチームで新しい医療に取り組むことができます。

（３）修業年限

標準修業年限は４年とする。

（４）学位の授与

博士課程を修了した者には、博士（医学）の学位を授与する。

２．専攻および募集人員（募集人員には、社会人、外国人留学生を含む。）

専　　攻	プロジェクト	募集人員
医　　学	健康長寿医学 亜熱帯医学 社会医学 再生・再建医学 臨床研究教育管理学	30 名

注．社会人とは、病院、研究所、官公庁、企業等に勤務し、入学後もその身分を有する者とする。

３．出願資格

（１）大学（医学、歯学、獣医学又は修業年限 6 年の薬学を履修する課程に限る。以下この項において同じ。）を卒業した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに卒業する見込みの者

（２）外国において、学校教育における 18 年の課程（最終の課程は、医学、歯学、獣医学又は薬学）を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者

（３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、獣医学又は薬学）を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者

（４）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者

（５）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 5 年以上である課程（医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程に限る。）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 7 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（６）文部科学大臣の指定した者（昭和 30 年文部省告示第 39 号）

①旧大学令（大正７年勅令第 388 号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者

②防衛庁設置法（昭和 29 年法律第 164 号）による防衛医科大学校を卒業した者

③修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期２年及び後期３年の課程の区分を設けない博士課程に２年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者〔学位規則の一部を改正する省令（昭和 49 年文部省令第 29 号）による改正前の学位規則（昭和 28 年文部省令第９号）６条第１号に該当する者を含む。〕で大学院又

は専攻科において、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

④大学（医学、歯学、薬学、又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において２年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学、又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

（７）大学に 4 年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者

（８）本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者（4 月 1 日生まれは該当）

４．出願資格審査

出願資格の（６）④、（７）、（８）に該当する者については、出願資格の事前審査を受ける必要があります。

書類提出期間　**令和６年７月 31 日（水）～８月７日（水）（土、日及び祝日を除く）**

提出先　Ｐ５提出先と同じ

結果通知　**令和６年９月２日（月）**

必要書類（※印は本研究科所定の用紙）

必要書類等	備　　考
志望理由書※	本研究科を志望した理由及び、入学後の研究志望の概要を記入すること
研究業績目録※	学術論文等を別刷又は写で添付すること
研究歴証明書※	大学、研究所等において研究に従事したことのある者

※出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り提出すること。

５．出願期間（出願資格審査を含む）

令和６年７月 31 日（水）～８月７日（水）（土、日及び祝日を除く）

持参の場合の受付時間 9：00 から 17：00（12:00～13:00 を除く）

（注意事項の例）

・受付期間内に出願書類が到着しない場合は出願を受理しないので、郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。

・郵送の場合は必ず「書留速達」とし**８月７日（水）17:00 まで**に必着のこと。

・受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

・出願後は、いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。

・出願書類の偽造や内容の改ざん、記載と相違する事実が判明した場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

６．出願手続

（１）出願書類

書類等名称	適用	対象者
①入学志願票	所定の用紙に必要事項を記入。 ※職歴等記載欄が足りない場合は、別紙（Ａ４様式自由・左上に氏名を記載）を作成してください	全員
②成績証明書	出身大学（学部）長等が作成し、厳封したものを提出してください。大学院修士（博士前期）課程修了者にあっては、学部在籍時の成績証明書を提出してください。	全員
③卒業（修了）又は見込み証明書	様式随意	全員
④検定料納付証明書（大学提出用）及び振込明細等	**検定料　３０，０００円** 詳細は、5ページ（４）検定料振込を参照してください。 ※特例措置対象者（6ページ参照）は、検定料を振込まず、申請手続きを行ってください。	全員
⑤受験票・写真票	本学所定の用紙に出願前３か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向・縦４㎝・横３㎝の写真を所定の欄に貼付してください。	全員
⑥受験票等送付用封筒	長形３号の封筒に自己のあて先・郵便番号を明記し、必ず344円の切手を貼付してください。	全員
⑦在留資格を証明する物	日本国内に居住している者は、入国査証（Visa）の写し、住民票の写し（市区町村長発行。記載事項の省略が無いもの。）等を提出してください。 日本国内に居住していない者は、「入国カード」の写し又は旅券（パスポート）等の写しを提出してください。	該当者のみ
⑧受験許可書	学院に在学中の者は、大学長等の受験許可書を、また、官公署、会社等に在職中（予定者含）の者は、入学年度に在職（予定）する所属長の受験許可書（別紙様式）を提出してください。（本学大学院医学研究科、琉球大学病院に在職している場合は、所属する講座の長又は診療部科長の印）	社会人のみ
⑨出願時におけるチェックリスト	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 ※志願者、指導予定教員が記入し提出。	全員
⑩戸籍抄本	成績証明書及び卒業（修了）（見込み）証明書等に記載されている氏名と現在の氏名が異なっている者のみ提出してください。	該当者のみ

※出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り提出すること。

（２）出願方法

出願書類を「書留速達」とし、封筒の表に「医学研究科（修士課程）入学志願書書類在中」と朱書

きし所定の期間内に提出先に郵送してください。
直接持参する場合の受付時間は、9 時 00 分から 17 時 00 分（12：00 から 13：00 を除く）までとします。ただし、土曜、日曜及び祝日は、受付をしません。

（３）提出先

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地

国立大学法人琉球大学　上原キャンパス
事務部学務課（医学部）入試・学事係
☎(０９８)-８９５-１０３２ 又は １０５３

（４）検定料振込
①検定料 30,000 円（所定の「検定料振込書」を使用してください。）
②振込期間
令和６年７月２４日（水）～８月７日（水）
③振込方法
振込は、a.銀行窓口、b.ＡＴＭ又はインターネットバンキングを利用することができます。なお、振込の際には金額の誤りに十分ご注意ください。
また、振込手数料については、志願者本人負担となります。

a．銀行窓口
・ 検定料振込書に必要事項を記入のうえ、検定料振込書に記載の「記入上の注意」をよく読み、最寄りの金融機関から振り込んでください。
・氏名を記入した「検定料納付証明書（大学提出用）＊1」の原本を出願書類に同封して提出してください。
＊1 「検定料納付証明書（大学提出用）」…検定料振込書の左端。**取扱金融機関収納印が押印されていること。**

b．**ATM又はインターネットバンキング**
※ATM 利用の場合はキャッシュカードを利用し振り込んでください。
・振込名義を必ず志願者本人にして、氏名の前に募集区分（医学研究科博士課程は 741）**を入力してください。**

例）

7	4	1	タ	゛	イ	カ	゛	ク	タ	ロ	ウ

・氏名を記入した「検定料納付証明書（大学提出用）＊1」の原本及び「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し＊2」を出願書類に同封して提出してください。
＊1 「検定料納付証明書（大学提出用）」…検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印は必要ありません。

＊2 「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」の裏面に募集区分（医学研究科博士課程は741）・氏名を記入してください。

留意事項

ア．検定料が振り込まれていない場合、「検定料納付証明書（大学提出用）」が出願書類に同封されていない場合、a．銀行窓口利用で「検定料納付証明書（大学提出用）」に取扱金融機関収納印がない場合及びb．ＡＴＭ又はインターネットバンキング利用で「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」が出願書類に同封されていない場合は、出願書類を受理しません。

イ．既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

①検定料を振り込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）。

②誤って検定料を二重に振り込んだ場合。

③特例措置対象者が検定料を振り込んだ場合。

※上記①、②に該当する場合は、本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し、払い戻しの理由を選択、「検定料納付証明書（大学提出用）」及び振込明細等を貼付して下記へ送付してください（封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください）。

（返還は銀行振込で行います。本人以外名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後 2～3 ヶ月程度かかります。）

送付期限：**令和７年３月３１日（月）**

送付先：〒903－0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL098－895－8058

※上記③に該当する場合は（５）③の手続を行ってください。

（５）災害等による入学検定料の特例措置

琉球大学では、令和 7 年度の大学院入学者選抜に関して、文部科学省より配慮依頼がある災害の被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特別措置を実施することとしましたのでお知らせします。

①措置内容

検定料の免除： 30,000 円

②免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類（写し）
１）災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	罹災（りさい）証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を

	証明する書類
２）居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

●文部科学省から配慮依頼がある災害等
・東日本大震災関連情報：文部科学省 HP
（ https://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/ ）
・熊本県熊本地方を震源とする地震について：
文部科学省 HP（https://www.mext.go.jp/a_menu/kumamotojisin/index.htm）
・その他の災害：文部科学省 HP
（https://www.mext.go.jp/a_menu/sonotajisin/index.htm）
③申請の方法　申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。
　本学所定の様式（検定料免除申請書）に、罹災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。
④検定料を誤って納付した場合
　本特例措置に該当するにも関わらず、誤って納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式「返還金払戻請求書」に、「免除申請書」及び「罹災証明書（写し）等」を添えて下記送付先へ申請してください。申請後、検定料を返還します（払戻の理由は「4.災害等による入学検定料の特例措置に該当」を選択）。
※返還金払戻請求書の送付期限 **令和７年３月３１日（月）**
（送付先）
　〒903-0215　沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地
　琉球大学上原キャンパス事務部学務課（医学部）入試・学事係
　TEL　098-895-1032 又は 1053

７．研究指導に関する事前相談

　出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り、研究内容等について相談のうえ出願書類を提出してください。

８．試験の日時及び場所

日時　**令和６年９月２８日（土）１０：００～１１：４０**
場所　琉球大学医学部　臨床講義棟２階
　※台風接近が予想される際は、琉球大学医学部公式ホームページ
　　（https://www.med.u-ryukyu.ac.jp/）で通知する。

９．選抜方法（入試科目）

　入学者の選抜は筆記試験の成績、面接及び提出書類の総合得点により順位付けし、合格者を決定します。

科　　目 （配　　点）	備　　考
筆記試験（英語） （８０点）	辞書は、英和、和英、医学辞書持込み可(電子辞書は持込み不可)。
面接(口頭試問) （２０点）	指導予定教員と個別に行いますので、受験票が届きましたら速やかに連絡を取ってください。

注１．受験者は、９時３０分までに本学臨床講義棟２階の試験会場に集合すること。

注２．「英語」の試験については次に該当する者は免除する。

①英検１級合格者　②TOEFL：PBT（580 点以上)、CBT（237 点以上)、iBT（92 点以上)

③TOEIC（860 点以上）④国連英検特Ａ級及びＡ級商業英語Ａクラス

10. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項については、本学において検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。「検討結果通知書」の受領後は、記載事項を確認のうえ同封の書類をご返送ください。

また、上記手続きには２～３週間を要します。合理的配慮の内容によっては、対応にさらなる時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書の提出をお願いします。

受験時に限らず、入学後における修学上の配慮希望については、随時相談を受け付けておりますので、以下の連絡先までご相談ください。

（１）申請期限　**令和６年７月１６日（火）（消印有効）**

※申請期限後の書類については、受理しませんのでご注意ください。

なお、申請期限後に不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、受験上の配慮を希望する場合は、問い合わせ先までご相談ください。

（２）申請方法

以下の書類を障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

①「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」（本学指定の様式）

②「医師からの意見書」（本学指定の様式）

③その他相談する際に必要な参考資料

上記①及び②の本学指定の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ（https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/）「支援を希望される皆さまへ」よりダウンロードできます。

※必要に応じて、追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は、志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原１番地

全保連ステーション（大学会館）2 階

琉球大学障がい学生支援室
電話：098-895-8750　FAX：098-895-8791
E-mail：g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

11. 合格者発表

令和６年１０月２１日（月）１４：００頃

上原キャンパス事務部学務課（医学部）（がじゅまる会館２F）前掲示板に掲示するとともに、琉球大学医学部ホームページ（https://www.med.u-ryukyu.ac.jp/）に掲載します。また、合格者へは合格通知書を郵送にて通知します。不合格者への通知は行いません。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

12. 入学手続等

（１）入学手続期間

令和７年３月１９日（水）・２１日（金）

（２）入学料及び授業料

入学料は銀行振込です。詳細は入学手続案内で通知します。

入学料 282,000 円（予定額）

授業料（前期分）267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

（注）①上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

②授業料については、本人の申し出により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

③琉球大学には入学料の免除又は徴収猶予、あるいは授業料の全額又は半額を免除する制度があります。対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。また、所定の免除申請手続きを行うことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の徴収を猶予します。

入学手続きの詳細については、別途合格者に対して「入学手続案内」を送付します。

13. 安全保障輸出管理

琉球大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「国立大学法人琉球大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、外国人留学生の方はなるべく出願前に指導を受けようとする教員と連絡を取るようにしてください。

14. 修学のための諸制度

（１） 長期履修制度

長期履修制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象として、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することができ、かつ、その間の授業料の年額の負担を軽減することができる制度です。

希望者は、事前に指導教員と研究計画について相談し、職業を有する者は、長期履修制度の利用にあたっては、各自で勤務先の内諾等を得るようにしてください。

（２）大学院設置基準第 14 条による教育方法の特例による教育の実施について

※　趣旨

近年、医療技術の進歩により社会は複雑高度化し、医療及び福祉への急速なる変革をもたらしています。大学院にあっては、一層の学術の高度化と総合化、創造的職業人養成の強化が急務となり、社会人にあっては、最新の医療技術、医療機器に対応するための日常的研鑽が必須になってきています。

そこで本研究科では、大学院設置基準第 14 条特例の昼夜開講制による授業を実施します。昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に授業・研究指導の時間を設け、現に実施診療にあたっている医師、企業に勤務している社会人技術者、教育者及び研究者等の社会人に大学院の授業、研究指導をより受け入れ易くする制度です。

（注）大学院設置基準第 14 条

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」

（３） 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金（貸与型）は、下記の方法で申し込みができます。詳細は琉球大学学生生活支援情報 HP「奨学金」ページをご覧ください（下記 URL 参照）。

①予約採用

大学院に進学する前に、事前に申請を受け付けます。

・募集期間：9 月下旬～12 月中旬

・申込方法：9 月中旬に琉球大学学生生活支援情報 HP で周知

②定期採用

大学院に入学後に、毎年度申請を受け付けます。

・募集期間：（春募集）入学～4 月下旬　　（秋募集）9 月中旬～10 月中旬

・申込方法：春募集は 3 月下旬、秋募集は 9 月中旬に琉球大学学生生活支援情報 HP で周知

＜問い合わせ先＞

学生部学生支援課学生援護係（奨学金担当）　TEL ： 098-895-8136

E-mail ： gksygsn@acs.u-ryukyu.ac.jp

学生生活支援情報 HP：https://slsi.skr.u-ryukyu.ac.jp/gksien/

（４） 入学料及び授業料の免除制度

「入学料免除・徴収猶予」及び「授業料免除」制度があります。詳細は、合格者に送付する「入学

者心得」の際にお知らせします。

＜問い合わせ先＞ 学生部学生支援課学生援護係 電話 ： 098－895－8135

15. 個人情報の取扱い

本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

（１）合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。

（２）入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理等、修学に関わる業務で利用します。

（３）入学手続者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入管理に関わる業務で利用します。

（４）入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生遠考など、修学支援に関わる業務で利用します。

（５）出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類に不備等があることを、保護者又は勤務先等に通知する場合に利用します。

（６）個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

※本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、上記及び個人情報の保護に関する法律第１８条、第２７条及び第２８条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

16.「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン（琉球大学大学院コース）」について

九州地区の 10 大学（九州大学、福岡大学、久留米大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学）が連携し、がんゲノム医療、希少がん・小児がん、ライフステージに応じたがん対策に対応できる人材を育成し、九州および日本におけるがん医療の一層の推進を図ります。

がんプロを希望する者は、受験票・写真票の「希望する（講座・プロジェクト）」欄に講座名とともに「がんプロ希望」と記載してください。

※出願する者は必ず指導予定教員に事前照会を行ってください。

詳細についてのお問い合わせ先

琉球大学医学部保健学科　血液免疫検査学分野　がんプロ養成プラン事務局

ＴＥＬ：０９８－８９５－３３３１（内線２６５２）

17. ２次募集

合格者が募集人員に満たない場合は、次の期日に第２次募集を行います。

※出願手続、選抜方法等は、第１次募集に準じます。

（１）出願期間及び手続（出願資格審査を含む）

令和７年１月２１日（火）～１月２８日（火）（土、日及び祝日を除く）

受付時間　９時～１７時

検定料振込期間

令和７年１月１４日（火）～１月２８日（火）

出願書類を「書留速達」とし、封筒の表に「医学研究科（修士課程）入学志願書書類在中」と朱書きし所定の期間内に提出先に郵送してください。

（２）障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

申請期限　**令和７年１月６日（月）（消印有効）**

（３）入学資格審査の審査結果

結果通知　**令和７年２月５日（水）**に本人あてに通知書を送付します。

（４）学力検査等期日及び時間

令和７年２月１５日（土）

（５）合格者の発表

令和７年３月１３日（木）１４：００頃

（６）入学手続期間

令和７年３月１９日（水）・２１日（金）

18. 問い合わせ先

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地

国立大学法人琉球大学　上原キャンパス
事務部学務課（医学部）入試・学事係
☎(０９８)-８９５-１０３２ 又は １０５３

19. 入試統計（志願者数、合格者数等）の公開

入試に関する統計を以下より公開しています。

https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/#graduate_school_etc_examination

20. 過去問の開示

受験希望者の方のために、前年度の入試問題を閲覧公開しています。

（著作権の関係上、一部非公開とした入試問題も本研究科 HP にて公開）

閲覧時間：9:00～17:00　（12:00～13:00 を除く）

閲覧場所：上原キャンパス事務部学務課（医学部）（がじゅまる会館２F）

閲覧に必要なもの：身分証等

閲覧方法：複写（コピー等）や写真撮影は禁止します。

21. 博士課程（医学専攻）の概要

1．設置の目的・趣旨

琉球大学大学院医学研究科博士課程は、「医学の分野全般において自立して研究活動を行う高度な研究能力と専門的かつ幅広い学識を備え、社会のニーズに対応した教育研究及び診療の分野で指導的役割を担う人材育成」を目的として、昭和62年に設置された。その後、平成15年に既設の３専攻が２専攻に改組され、平成26年には１専攻に再編された。

近年の医学の急速な進歩は、これまでの医学研究の枠組みを大きく変えつつあり、研究手法や関心領域が数年単位でめまぐるしく進化・変貌を遂げ、それぞれの研究領域が複合的に絡み合い学際的になっているという実態がある。その様な状況から、研究分野間の有機的な連携による教育体制や、包括的で多様な知識・技術の獲得を促す学生指導が無いと、国際的に活躍できる人材の育成は難しく、大きな研究の発展は望めない。日増しに複雑化・高度化の様相を見せる医学領域においてリーダーシップを発揮する高度な人材を育成するには、分野横断的な大学院プログラムを用意することが必須である。この様な大学院教育が向かうべき方向性を踏まえて、平成26年の改組では、既存の２専攻を「医学専攻」に一本化し、コースワークとリサーチワークからなる体系的な教育課程を編成した。

2．博士課程の構成

医学専攻
- 1　システム生理学
- 2　放射線診断治療学
- 3　脳神経外科学
- 4　眼科学
- 5　育成医学
- 6　耳鼻咽喉・頭頸部外科学
- 7　精神病態医学
- 8　先進ゲノム検査医学
- 9　再生医学
- 10　分子解剖学
- 11　ゲノム医科学
- 12　人体解剖学
- 13　分子・細胞生理学
- 14　薬理学
- 15　胸部心臓血管外科学
- 16　麻酔科学
- 17　整形外科学
- 18　腎泌尿器外科学
- 19　顎顔面口腔機能再建学
- 20　救急医学
- 21　臨床薬理学
- 22　薬物治療学
- 23　医化学
- 24　生化学
- 25　腫瘍病理学
- 26　細胞病理学
- 27　公衆衛生学・疫学
- 28　法医学
- 29　内分泌代謝・血液・膠原病内科学
- 30　循環器・腎臓・神経内科学
- 31　消化器・腫瘍外科学
- 32　女性・生殖医学
- 33　細菌学
- 34　免疫学・寄生虫学
- 35　皮膚科学
- 36　先進医療創成科学
- 37　感染症・呼吸器・消化器内科学
- 38　ウイルス学
- 39　生体防御学
- 40　感染免疫制御学
- 41　臨床研究教育管理学
- 42　形成外科学

22. 研究指導教員一覧

〇各メールアドレスの後の「.u-ryukyu.ac.jp 」を省略してあります。
〇ダイヤルインの前の「098−895」は、省略してあります。

講　座	指導教員（教授） メールアドレス （ダイヤルイン）	研　究　内　容
システム生理学	宮　里　　実 miyaz929@med (1111)	・加齢にともなう自律神経変化と排尿障害機序の解明 ・排尿病態モデルを利用した排尿障害創薬研究 ・難治性骨盤痛を標的とした神経可塑性の研究 ・沖縄県リアルワールドデータを利活用した排尿橋渡し研究 ・母子隔離ストレスモデルを利用した排尿機能障害と中枢神経可塑性機序の解明
放射線診断治療学	西　江　昭　弘 nishie_a@med (1160)	・がんの病理、治療効果、予後を予測する総合的な画像診断法の確立 ・放射線を用いた新たな腫瘍制御法の開発 ・多様な生体機能を抽出する画像診断システムの構築
脳神経外科学	浜　崎　　禎 hamasaki@med (4600)	・解剖・機能画像を用いた脳腫瘍手術の 3 次元シミュレーションの開発 ・脳血管穿通枝を可視化する神経画像モダリティーの研究 ・精緻なてんかん焦点診断技術の開発 ・機械学習を用いた患者管理及び手術支援システムの開発
眼科学	古　泉　英　貴 hkoizumi@med (1180)	・黄斑疾患・網脈絡膜疾患の疫学、予防、治療に関する研究 ・黄斑疾患・網脈絡膜疾患におけるバイオマーカーを用いた病態解析 ・非侵襲的眼底イメージング法の開発と臨床応用 ・緑内障における大規模コホート疫学研究 ・緑内障における隅角および房水流出路の形態解析と眼圧制御メカニズムの解明
育成医学	中　西　浩　一 knakanis@med (1155)	・小児腎臓病の治療研究と病態解析 ・小児血液・腫瘍性疾患の治療研究と病態解析 ・先天性代謝異常の治療研究と病態解析 ・小児膠原病・リウマチ性疾患の治療研究と病態解析 ・新生児疾患の治療研究と病態解析 ・小児内分泌疾患の治療研究と病態解析 ・小児神経・筋疾患の治療研究と病態解析 ・小児アレルギー疾患の治療研究と病態解析 ・希少・難治性疾患の治療研究と病態解析
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	鈴　木　幹　男 suzuki@med (1181)	・脳機能画像を用いた感覚・運動障害の評価 ・遺伝子性難聴の病態、診断 ・メニエール病治療法の開発 ・頭頸部悪性腫瘍発生，治療効果と関連する遺伝子群およびウイルス感染の検索
精神病態医学	未　定	未　定
先進ゲノム検査医学	未　定	未　定
再生医学	野　口　洋　文 noguchih@med (1696)	・ES、iPS 細胞から各臓器・組織への分化誘導 ・iPS 細胞、iPS 類以細胞の作製および機能評価 ・間葉系幹細胞（骨髄由来・脂肪由来）を用いた細胞療法 ・膵・肝細胞の分離・培養技術の開発 ・膵島移植成績向上を目指した技術改変 ・血糖反応性インスリン分泌機能を持ったデバイス開発

講　座	指導教員（教授） メールアドレス （ダイヤルイン）	研　究　内　容
分子解剖学	高　山　千　利 takachan@med （1103）	・中枢神経系における GABA 及びグリシンシグナルの形成機構に関する分子形態学的解析 ・遺伝子改変マウスを用いた GABA の機能解析 ・神経障害性疼痛のメカニズムと治療法開発に関する研究 ・損傷神経の再生機構に関する研究
ゲノム医科学	未　定	未　定
人体解剖学	木　村　亮　介 rkimura@med （1100）	・医用画像を用いた頭蓋顔面を中心とした形態変異の解析 ・顔面形態に関連する遺伝子多型の同定 ・アジア人特異的な皮膚機能に関する遺伝子多型の同定 ・ゲノム情報を用いたヒト集団形成史の復元
分子・細胞生理学	松　下　正　之 masayuki@med （1106）	・低酸素・酸化ストレス応答機構の解明 ・ヒト iPS 細胞を用いた精神疾患の病態解明
薬理学	筒　井　正　人 tsutsui@med （1133）	・活性硫黄合成酵素トリプル欠損マウスの開発と機能解析 ・食物アレルギーモデルマウスを用いた経口免疫寛容の研究 ・悪性脳腫瘍に対する新規遺伝子治療法の開発 ・一酸化窒素（NO）合成酵素完全欠損マウスを用いた医学研究 ・心筋梗塞の発症における糞便移植（腸内細菌叢移植）の抑制作用
胸部心臓血管外科学	古　川　浩二郎 kojirof@med （1166）	・弁膜症手術における形成術の成績向上のための基礎的・臨床的研究 ・大動脈手術における脊髄障害発生のメカニズムの解明と予防法の開発 ・重症心不全に対する人工心臓治療の基礎的・臨床的研究 ・大動脈瘤に対する新規カテーテル治療の開発 ・Budd-Chiari 症候群の発症メカニズムの解明と低侵襲手術の開発 ・肥大型心筋症に対する外科治療の開発
麻酔科学	垣　花　　学 mnb-shk@med （1187）	・主要臓器（特に肺、脳）の病変修復機構の解明と治療法の開発 ・虚血性脳・脊髄障害の発生機序解明と治療法の開発 ・運動誘発電位モニタリングによる脊髄機能評価法の臨床応用に関する研究 ・生体ガス分子を用いた臓器保護の機序解明ならびに臨床応用に関する研究 ・神経変性疾患に対する硫化水素の神経保護効果の分子生物学的研究 ・自然免疫と中枢神経障害の関連に関する研究
整形外科学	西　田　康太郎 kotaro@med （1172）	・神経筋原性側弯症の病態・自然経過と治療戦略 ・沖縄県における骨粗鬆症治療に関する疫学調査 ・屈筋腱断裂における新しい縫合法の基礎研究 ・悪性骨・軟部腫瘍の特性を制御するマイクロ RNA の探索と新規抗がん剤の開発 ・バイオ 3D プリンターを用いたスポーツ障害に対する再生医療の技術開発―前十字靭帯再建術時の骨靭帯結合部の再生― ・人工股関節置換術後の脊椎―股関節アライメント変化について
腎泌尿器外科学	猪　口　淳　一 junino@med （1184）	・尿路上皮癌に対する新規尿中バイオマーカーの開発 ・尿路上皮癌の浸潤様式の違いにおける特異的遺伝子発現の検討 ・浸潤性尿路上皮癌におけるネクチン 4 の発現とその発現制御に関する研究 ・去勢抵抗性前立腺癌における新規予後予測マーカーの検討 ・前立腺癌における SSEA-4 の発現と血清マーカーとしての有用性関する研究 ・転移性腎癌の治療効果予測因子に関する臨床病理学的検討 ・腎移植の成績向上へ向けた臨床的検討 ・女性骨盤底機能障害のレジストリ作成に基づいた予防・先端治療の確立

講　座	指導教員（教授） メールアドレス （ダイヤルイン）	研　　究　　内　　容
顎顔面口腔 機能再建学	中　村　博　幸 hnak@med （1190）	・口腔癌微小環境での免疫寛容獲得機構の解明 ・口腔癌の浸潤・転移獲得機構の解明 ・口腔癌再発予防ペプチドカクテルワクチンの樹立に関する基礎的研究 ・顎関節症滑膜炎誘導機構の解明 ・歯髄幹細胞を用いた顎骨再生法の検討 ・地域脳健診での口腔機能と認知症の関連解析
救急医学	梅　村　武　寛 takeume@med （1197）	・侵襲に対する生体の反応と制御についての研究 ・重症救急患者の病態解析と救命救急治療法の開発 ・救急医療システムと集団災害医療システムの研究 ・蘇生法の疫学研究 ・蘇生法の教育研究
臨床薬理学	未　定	未　定
薬物治療学	中　村　克　徳 nkatsu@med （1346）	・薬物代謝酵素、薬物トランスポータ、薬物受容体の遺伝子解析による個別化医療の研究 ・いわゆる健康食品と医薬品の相互作用回避のための調査研究 ・医薬品の適正使用のための調査研究 ・医薬品による副作用、特に重症薬疹の予測・対処法の臨床応用に関する教育・研究 ・沖縄県の特徴を踏まえた地域医療教育・研究
医化学	鈴　木　健　夫 t_suzuki@med （1115）	・核酸修飾に関するケミカルスペースの探索および遺伝子発現調節機構の解明 ・修飾異常に基づく疾患のエピトランスクリプトーム解析および病態解明の研究。診断・予防・治療への応用 ・細胞内タンパク質合成の制御や調整に関する研究
生化学	黒　柳　秀　人 hidehito@med （1112）	・遺伝子発現の転写後制御機構の解明 ・遺伝子発現制御機構の破綻による病態形成機構の解明 ・拡張型心筋症モデルマウスの作製と解析 ・ゼブラフィッシュの先天性貧血疾患モデルの解析
腫瘍病理学	和　田　直　樹 wadan@med （1118）	・成人Ｔ細胞白血病・リンパ腫（ATLL）に対する診断学的アプローチ ・日常病理診断で経験する症例に立脚した研究 ・腫瘍幹細胞的性格を有する細胞分画の研究
細胞病理学	川　上　　史 fumi@med （1121）	・子宮頸部腺癌の診断的および予後予測バイオマーカーの探索・アミロイドーシスの診断モダリティの研究
公衆衛生学 ・疫学	中　村　幸　志 knakamur@med （1136）	・一般人での生活習慣・バイオマーカーと非感染性疾患（特に循環器系領域） ・公衆衛生の立場での生活習慣病対策 ・若者のライフデザイン
法医学	二　宮　賢　司 ninomiya@med （1139）	・減圧症の法医学的診断法の確立 ・海洋法医学的研究 ・局所への陰圧が生体に与える影響について ・薬毒物の体内動態および代謝 ・薬毒物の高感度分析法の開発

講　座	指導教員（教授） メールアドレス （ダイヤルイン）	研　究　内　容
内分泌代謝・血液・膠原病内科学	益　崎　裕　章 hiroaki@med (1146)	・食の嗜好性･食行動変容に関わる脳内分子メカニズムの解明と医学応用および新しい治療法・予防法の開発 ・人工知能（AI)、IoT を活用する２型糖尿病・肥満症発症予防の行動科学に関する研究 ・血液悪性腫瘍の分子メカニズムの解明および新規の治療法・評価法の開発 ・アルコール依存・ニコチン依存の脳内分子メカニズムに関する研究 ・高尿酸血症の病態生理学的意義に関する基礎的・臨床的研究 ・メタボリックシンドロームの病態解明に関する研究 ・糖尿病・骨髄移植（血液悪性腫瘍)、生活習慣病に関わる効果的チーム診療のシステム開発に関する研究 ・メタボロームを活用した代謝内分泌疾患、血液疾患、膠原病リウマチ疾患の病態解明と評価法の開発 ・FDG-PET/CT や機能的 MRI を活用した内分泌代謝疾患・血液悪性腫瘍の新しい評価法に関する臨床的研究 ・膠原病リウマチ疾患の病態解明、評価法・治療法の開発研究 ・成人Ｔ細胞白血病の病態、治療法、疫学に関する臨床的･基礎的研究 ・腸内フローラ・腸脳連関と認知症・うつ・生活習慣病に関する研究
循環器・腎臓・神経内科　学	楠　瀬　賢　也 kusunok@med (1148)	・高血圧・動脈硬化・生活習慣病における成因・病態解明と臨床試験 ・腎臓病の病態と治療に関する研究 ・脳卒中の病態および脳循環代謝の研究 ・神経疾患の病態に関する研究 ・地域特性を反映した循環器疾患，生活習慣病，腎臓病，神経疾患の疫学研究 ・新指標を活用した心エコー図検査による心疾患の早期検出とリスク層別化研究 ・多施設共同研究の疾患データを用いた臨床研究：疾患への洞察と臨床問題の解明 ・AI を活用した心エコー図検査の自動化と診断精度向上に関する研究 ・AI を用いた疾患予後予測の精度改善および精緻医療についての研究 ・AI 技術を利用した遠隔診断と遠隔医療実現に向けた研究
消化器・腫瘍外科学	高　槻　光　寿 mtaka1@med (2411)	・食道癌切除リンパ節における微小転移巣の臨床的意義 ・肛門管癌の病態解明と Staging（病期分類）に関する研究 ・大腸癌手術における縫合不全予防のための血流評価 ・肥満大腸癌患者に対する腹腔鏡下手術の腫瘍学的安全性の評価 ・不可逆性肝疾患に対する肝移植の成績改善のための研究 ・膵癌の治療成績向上のための分子生物学的研究 ・腸内細菌が免疫応答におよぼす影響についての研究 ・肝移植における免疫寛容についての研究 ・デジタル技術を用いた手術シミュレーション・ナビゲーションについての研究 ・脂肪幹細胞を用いた消化器系再生医療についての研究やま s
女性・生殖医学	関根　正幸 msekine@med (1175)	・子宮頸がん予防、特に HPV 感染とワクチンに関する臨床研究 ・卵巣がん、子宮体がんのゲノム医療に関する臨床研究 ・遺伝性腫瘍の地域特性と発症リスク予知に関する研究 ・腟内細菌叢と流早産発生に関するマイクロバイオーム研究 ・子宮内膜症および不妊症患者における女性生殖器マイクロバイオーム研究 ・沖縄県における早産発生のリスクファクターに関する研究 ・がん生殖とがん合併妊娠に関する臨床研究
微生物学・腫瘍学		学生募集は行っておりません

講　座	指導教員（教授） メールアドレス （ダイヤルイン）	研　究　内　容
細菌学	山　城　　哲 tyamashi@med （1125）	・コレラ菌の病原因子解析に関する研究 ・紅麹抽出物によるコレラ菌の持つ病原性の抑制作用に関する研究 ・せんい状コレラ菌の病原性に関する研究 ・レプトスピラ感染症の持続感染機構の解明に関する研究 ・沖縄県における下痢症の疫学的研究
免疫学・寄生虫学	岸　本　英　博 hidek@med （1127）	・免疫記憶誘導機構の分子細胞生物学的解析 ・胸腺における NegativeSelection の分子機構の研究 ・新規がん免疫療法の開発 ・移植片に対する寛容誘導の研究 ・感染症のワクチン効果に関する免疫賦活剤の検討 ・感染症に対する新規抗体医薬品の開発
皮膚科学	高　橋　健　造 kenzot@med （1153）	・沖縄・琉球諸島に多い皮膚症の解析 ・カポジ肉腫・血管肉腫の発症病態の解明 ・ヒトの皮膚の創傷治癒遅延の解明 ・皮膚の内因性老化を促進する因子の探索 ・角化症治療薬の創薬 ・皮膚がんモデル作製と治療法開発
先進医療創成科学	山　下　暁　朗 akyama21@med （1202）	・がん抗原発現制御を中心としたがん免疫賦活化法の開発 ・mRNA 監視機構の基礎研究と希少疾患治療法の開発 ・疾患関連遺伝子由来 mRNA 転写後制御の基礎研究と診断・予防・治療法の開発 ・mRNA 転写後制御をターゲットにした創薬プラットフォームの構築 ・血液系腫瘍の発がんメカニズム解明と診断・予防・治療法の開発 ・炎症と酸化ストレスを同時に抑制する薬剤の開発
感染症・呼吸器・消化器内科学	山　本　和　子 kazukomd@med （1144）	・呼吸器ウイルスと関連する肺炎の免疫病態の解明 ・侵襲性肺炎球菌感染症の病態の解明 ・デジタル PCR を用いた感染症の新たな診断法 ・肺マイクロバイオームと感染症の関係の解明 ・HIV 感染者の腸内細菌叢と認知フレイル進展の関連性と分子機構解明 ・自己免疫疾患に合併する肺感染症の疫学 ・沖縄県の肺非結核性抗酸菌症の疫学と臨床像、細菌学的・分子学的特徴 ・沖縄県のヘリコバクター・ピロリ菌の疫学と臨床像、分子学的特徴 ・沖縄県の肝疾患の疫学と臨床像、疾患感受性遺伝子の分析 ・胆道・膵管のマクロバイオームと炎症の解明
ウイルス学	大　野　真　治 soono@med （1708）	・ウイルス感染メカニズムの解明 ・ウイルス感染症モデル動物の作出と解析 ・ウイルスの増殖、感染維持、病原性に関わるウイルス遺伝子と宿主因子の研究 ・シチズンサイエンスによる蚊媒介性感染症対策及び予測法の開発
生体防御学	松　﨑　吾　朗 matsuzak@comb （8968） （千原地区）	結核などの細菌感染症に対する免疫･生体防御反応の制御機構を研究の中心課題とする。特に以下の点について、マウスを用いた個体・組織レベルから、培養細胞を用いた細胞・分子レベルにいたる幅広い解析を行う。 1．マクロファージ活性化制御とシグナル伝達の分子機構の解明 2．病原体の病原因子によるマクロファージ機能制御の分子機構の解明 3．感染防御における炎症性サイトカインの役割の解明
感染免疫制御学	新　川　　武 tarakawa@comb （8974） （千原地区）	・腸管毒素原性大腸菌（ETEC）及び志賀毒素産生性大腸菌（STEC）由来 AB5 型毒素分子のヘテロ 6 量体形成機構解明と B5 型ワクチンの開発 ・T=1 並びに T=3 正二十面体ウイルス粒子形成機構解明とそのウイルス様粒子（VLPs）形成機構を応用した VLP ワクチンの開発 ・T=3 正二十面体ウイルス粒子の殻構造を分子骨格に用いたワクチン抗原搭載技術（ハイブリッド抗原）の開発 ・天然及び合成化合物からの免疫賦活物質の探索とその免疫学的作用機序解明に基づくワクチンアジュバントの開発

講　座	指導教員（教授） メールアドレス （ダイヤルイン）	研　　究　　内　　容
臨床研究教育管理学	未　定	未　定
形成外科学	清　水　雄　介 yyssprs@med （1768）	・動脈・静脈・リンパ管の解剖研究 ・神経再生の研究 ・脂肪幹細胞を用いた再生医療研究 ・手術器具・医療機器開発研究

教育課程においては、講義やセミナーによる体系的なコースワークと、多講座連携で推進しているプロジェクトに携わりながら専門的技術・知識を学ぶリサーチワークを提供する。

以下に、どの講座がどの研究プロジェクトを主として実施しているかを示す。

講　座　名	①健康長寿医学プロジェクト	②亜熱帯医学プロジェクト	③社会医学プロジェクト	④再生･再建医学プロジェクト	⑤臨床研究教育管理学プロジェクト
システム生理学	●				
放射線診断治療学	●				
脳神経外科学	●			●	
眼科学	●		●		
育成医学	●	●		●	●
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	●			●	
精神病態医学					
先進ゲノム検査医学	●				
再生医学				●	
分子解剖学	●			●	
ゲノム医科学					
人体解剖学	●	●	●		
分子・細胞生理学	●			○	
薬理学	●			○	
胸部心臓血管外科学	○			●	●
麻酔科学				●	
整形外科学	●			●	
腎泌尿器外科学	●			●	●
顎顔面口腔機能再建学	●			●	
救急医学	●		○		
臨床薬理学	●		●		●
薬物治療学	●	●			
医化学	●				
生化学	●			○	
腫瘍病理学	●	●			
細胞病理学	●				
公衆衛生学・疫学	●		●		●
法医学	○		●		
内分泌代謝・血液・膠原病内科学	●		○	●	
循環器・腎臓・神経内科学	●		●	○	●
消化器・腫瘍外科学	●			●	
女性・生殖医学	●		○	○	●
細菌学		●			
免疫学・寄生虫学	●	●			
皮膚科学	○	●		○	
先進医療創成科学	●	○		●	

講　　座　　名	①健康長寿医学プロジェクト	②亜熱帯医学プロジェクト	③社会医学プロジェクト	④再生･再建医学プロジェクト	⑤臨床研究教育管理学プロジェクト
感染症・呼吸器・消化器内科学	●	●	○		
ウイルス学		●			
生体防御学		●			
感染免疫制御学	○	●			
臨床研究教育管理学			●		●
形成外科学				●	

⑴　コースワーク

①　共通科目

「研究・生命倫理概論」、「研究方法論概論」、「実験動物学概論」、「情報医科学概論」及び「分子細胞生物学概論」の５つの科目を共通の科目として必修とし、研究者の素地の涵養を目指す。これらの履修によって、大学院生に、課題設定、方法論、倫理観等の幅広い基礎的能力や俯瞰的なものの見方を修得させる。

②　プロジェクト関連科目

沖縄の地域特性やアジアにおける国際貢献を見据えて、本研究科が推進する研究プロジェクトに対応した「健康長寿医学」、「亜熱帯医学」、「社会医学」、「再生・再建医学」及び「臨床研究教育管理学」を設定する。各プロジェクトに対応した「健康長寿医学概論」、「亜熱帯医学概論」、「社会医学概論」、「再生・再建医学概論」及び「臨床研究教育管理学概論」を選択必修科目として、その後の研究指導へと有機的につながる専門的知識と能力を修得させる。

③　特別演習（研究室ローテーション）

研究室ローテーション（必修科目）は、コースワークの充実を目的とした制度で、大学院生が本人の科学的興味あるいは研究の関連性に基づいて、他の研究室のリサーチカンファレンスや論文抄読会に自由に参加出来る制度である。この制度により、大学院生が複数の講座において自らの研究分野以外の幅広い知識を獲得出来るようにする。さらに、研究者間のコミュニケーションが図られ、共同研究が活性化・円滑化されることを狙っている。

④　大学院特別研究Ⅰ、Ⅱ

指導教員のもと、大学院特別研究Ⅰ、Ⅱ（演習、実習、いずれも必修科目）を履修する中で、自ら研究課題を発見し設定する能力、仮説を検証する能力、他人を納得させるためのコミュニケーション能力、国際性及び倫理観を修得させる。

大学院特別研究Ⅰ（演習）では、関連する科学論文等を題材として客観的評価の方法、批判的思考法を修得させ、さらに、それを他人に紹介できるプレゼンテーション能力を養う。

大学院特別研究Ⅱ（実習）では、学位論文とする研究課題の発見と設定する能力、矛盾しない仮説の設定とその検証、実験及びデータ解析能力、国際性と倫理観、さらに、他人に納得させるコミュニケーション能力を修得させる。

⑤　専門科目

専門科目により、大学院生の科目選択の柔軟性を確保し、多様な学識、方法論や技術を修得させる。医学の進歩に対応した効率的で質の高いコースワークを目指している。

⑵　リサーチワーク

リサーチワークでは、多講座が有機的な連携を図りながら推進しているプロジェクトベースの研究

グループに大学院生を参加させて、近年の生命科学の進歩に対応した多彩な実験手技、方法論や知識を修得させる。リサーチワークをプロジェクトベースにすることにより、大学院生のみならず指導教員の側も講座間の垣根を意識しなくなり、学際的な共同研究の進展が予想され、大学院教育と研究において相乗効果を生むことが期待される。

⑶　体系的なコースワーク、リサーチワーク

下図１に示すように、大学院生は講義を中心としたコースワーク、研究室ローテーション、及び多講座間連携研究のリサーチワークを体系的に学ぶことにより、複雑高度化する医学領域における知識と高度な研究技術を体得することが出来る。

図１. 自己改新力 (self-renovation ability) と生涯持続力 (sustainability in total life) を持った優れた人材を育成

2．その他の取り組み

⑴　中間発表会

博士課程教育の質保証に向けて、博士課程 3 年次に中間発表会を実施する。この中間発表会において、博士論文作成に必要な基礎知識やコミュニケーション能力、研究課題の設定能力、解決方法とそれに向けた準備状況及び研究進捗状況等を、それまでのコースワーク等を通じて修得しているか否か包括的に審査する。

⑵　講義を欠席した場合の取扱い

大学院講義（共通科目）の映像資料のみを DVD 撮影し、やむを得ず、講義を欠席した学生に対して、Webclass によるアーカイブ配信にて、当該講義録画データを視聴の上、担当教員の口答試問を受けるか又は、講義レポートを提出する。

その内容が、講義を受講したのと同等と認められる場合には、講義担当教員の判断により出席扱いとする。

⑶　副指導教員制度

副指導教員制度を導入し、研究倫理教育の充実を目指す。副指導教員の役割は、分野の垣根を越えた研究指導の補助を行うことや大学院生が研究倫理に疑問を抱いた場合、主指導教員と独立したメンターとして随時大学院生の相談相手になること及び学位論文投稿前の事前審査を行うことである。

⑷　インターンシップ制度

インターンシップ制度を導入し、大学院生の就職支援体制の確立を目指す。学務委員長あるいは医学研究科長が、大学院生が希望する企業や研究施設にインターンシップの仲介・斡旋を行って、短期間のインターンシップを実施する。

所在地略図

那覇空港から

【モノレール&タクシー】

那覇空港駅 ▶約30分▶ てだこ浦西駅 ▶▶ タクシー ▶約10分▶ 琉大医学部・病院

【モノレール&路線バス】

那覇空港駅 ▶約25分▶ 儀保駅 ▶▶ 那覇バス 97 ▶約30分▶ 琉球大学病院前

那覇空港駅 ▶約27分▶ 首里駅 ▶▶ 那覇バス 94 ▶約25分▶ 琉球大学病院前
※平日のみ運行

那覇空港駅 ▶約37分▶ てだこ浦西駅 ▶▶ 那覇バス 294 ▶約10分▶ 琉球大学病院前
※平日のみ運行

【タクシー】

那覇空港 ▶▶ 沖縄自動車道 ▶約35分▶ 琉大医学部・病院

那覇空港 ▶▶ 那覇うみそらトンネル ▶▶ 国道330号 ▶約35分▶ 琉大医学部・病院

那覇バスターミナルから

【路線バス】

那覇バスターミナル8番のりば ▶▶ 那覇バス 97 ▶約50分▶ 琉球大学病院前

医学部建物配置図

令和７年度

琉球大学大学院医学研究科（博士課程）入学志願票

<table>
<tr><td>出願区分</td><td colspan="3">１．一般　２．社会人　３．外国人留学生　４．入学資格
（いずれか該当するものを〇でかこむこと。）</td><td>受験番号</td><td colspan="2">※</td></tr>
<tr><td colspan="2">ふりがな</td><td colspan="3"></td><td colspan="2">性　　別</td></tr>
<tr><td colspan="2">氏　　名</td><td colspan="3"></td><td colspan="2">男　・　女</td></tr>
<tr><td colspan="2">生 年 月 日</td><td colspan="3">昭和
平成　　年　　月　　日生</td><td colspan="2">年齢
歳</td></tr>
<tr><td rowspan="2">志願する（教育研究講座等）及び指導教員</td><td rowspan="2">志　望</td><td colspan="2">講座
（プロジェクト）</td><td>指導教員</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">出 願 資 格</td><td>１.国立</td><td colspan="5" rowspan="3">年　　月
大学　　学部　　学科　　卒業
年　　月
大学院　　研究科　　課程
専攻　　修了
修了見込</td></tr>
<tr><td>２.公立</td></tr>
<tr><td>３.私立</td></tr>
<tr><td>４.その他</td></tr>
<tr><td colspan="2">医師国家試験</td><td colspan="2">年　　月　　日　　合格</td><td>医籍登録番号</td><td colspan="2">号</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">現　住　所</td><td colspan="5">（郵便番号　　）</td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td colspan="2">市外局番（　　）　－</td><td>携帯番号</td><td colspan="2">－　　－</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">試験・入学等に関する通知場所</td><td colspan="5">（郵便番号　　）</td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td colspan="4">市外局番（　　）　－
携帯番号（　　）　－</td></tr>
<tr><td>メールアドレス</td><td>ＰＣ</td><td></td><td>携帯</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

記入上の注意

1　青又は黒のインクを使用し、楷書で記入すること。
2　現住所は、詳細に記入すること。（間借り等の場合は某方まで記入すること。）
3　履歴事項は、裏面に記入すること。
4　免許・資格等の欄は、該当する者のみ記入すること。
5　入学資格認定を要する者は、出願区分のうち１～３を併せて選択すること。
6　※印欄は、記入しないこと。

履　歴　事　項

氏　名	

	年　　月	修業年限	事項（高等学校から記入してください。）
学歴	年　月～　年　月	年	
	年　月～　年　月	年	
	年　月～　年　月	年	
	年　月～　年　月	年	
	年　月～　年　月	年	

	年　　月	勤　務　先
職歴	年　月～　年　月	
	年　月～　年　月	
	年　月～　年　月	
	年　月～　年　月	
	年　月～　年　月	

	年　　月	研　究　先
研究歴	年　月～　年　月	
	年　月～　年　月	
	年　月～　年　月	
	年　月～　年　月	
	年　月～　年　月	

研究計画概要（必須）	

令和７年度

琉球大学大学院医学研究科（博士課程）受験票

出願区分	１．一般　　２．社会人　　３．外国人留学生 （いずれか該当するものを〇でかこむこと。）

受験番号	※		写真貼付 正面向き上半身 脱帽３ヶ月以内 に撮影したもの （縦４×横３㎝）
ふりがな			
氏　　名			
志望する （講座・プロジェクト）	志　望	講座	
		（プロジェクト）	

注　１　※印欄は、記入しないこと。
　　２　この受験票は机右上に掲示しておくこと。
　　３　この受験票を紛失した場合は、直ちに届け出ること。
　　４　辞書は、英和、和英、医学辞書持込み可（電子辞書は持込み不可）。

きりはなさないこと。

令和７年度

琉球大学大学院医学研究科（博士課程）写真票

出願区分	１．一般　　２．社会人　　３．外国人留学生 （いずれか該当するものを〇でかこむこと。）

受験番号			写真貼付 正面向き上半身 脱帽３ヶ月以内 に撮影したもの （縦４×横３㎝）
ふりがな			
氏　　名			
志望する （講座・プロジェクト　　）	志　望	講座	
		（プロジェクト）	

試験出欠確認欄	出　・　欠

注１　※印欄は、記入しないこと。

研　究　歴　証　明　書（博士課程）

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記の者が、下記のとおり研究歴を有することを証明します。

記

在職した機関 部局及び身分	
研究期間	年　　月　～　　年　　月（　　年　　月間）
研究題目及び研究内容	
指導教員・職・氏名	

令和　　年　　月　　日

所在地

機関名

機関の長　　印

研　究　業　績　目　録（博士課程）

氏　　名	

学術論文，研究発表 報告，特許等の名称	発行，発表の 年　月　日	発行所，発表雑誌又 は発表学会等の名称	備　　考 （共著者名称）

（注意）１．年代順に記入すること。
２．学術論文等を別刷又は写しで添付すること。
３．パソコン等使用により作成する場合は、本様式に直接又は本様式に準じて別紙（Ａ４判）に作成すること。

志　望　理　由　書（博士課程）

氏　　名	

（注意）パソコン等使用により作成する場合は、本様式に直接又は本様式に準じて別紙（Ａ４判）に作成すること。

受　験　許　可　書（博士課程）

職　　名

氏　　名

上記の者が、貴大学院医学研究科を受験することを許可します。

令和　　年　　月　　日

事業所名

所属長　　印

琉球大学大学院医学研究科長　　殿

出願時におけるチェックリスト

□現在、他の研究機関等において作成中もしくは作成した研究論文がありますか？
（　はい・　いいえ　）
〇　学位論文については入学後に作成したものに限る。

□入学後に他の大学院及び研究機関等において研究指導を受ける予定がありますか？
（　はい・　いいえ　）
〇他の大学院又は研究所等においての研究指導を最長２年間受けることがで来る。
〇その際得たデータを使用する場合、本研究科においても倫理審査及び動物実験等の必要な手続きを行うこと。

□有職者の場合、通学が可能ですか？
（　はい・　いいえ　）
〇原則として、入学後通学できる範囲に限る。

志願者氏名
希望所属講座＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

指導予定教員
所属講座　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

振込み上の注意

○ **「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペン（消えるボールペンは不可）で正確に記入してください。**
《依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、電話番号、振込先（枠内に○印）》
○ 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振り込み、ＡＴＭ（現金自動預払機）は使用しないでください。
○ 振込手数料については、志願者本人負担となります。
○ 金融機関窓口から「検定料納付証明書（**大学提出用**）」を受け取る際は、取扱金融機関収納印が押印されているか確認してください。
○ 「検定料納付証明書（**大学提出用**）」は**出願書類に同封して提出**してください。
○ 以下の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関に備え付けの「振込依頼書」で振り込んでください。その後、振込依頼書の控え（写し可）及び氏名を記入した「検定料納付証明書（大学提出用）」の原本を出願書類に同封して提出してください。振り込みの際は、振込人氏名（志願者本人）の前に必ず募集区分（741）を付してください。

検　定　料　振　込　書

※医学研究科（博士課程）

（振込前に志願者で切離し）

検定料納付証明書 （大学提出用）

★出願書類に同封して提出ください。

※依頼日	年　月　日	
金額	¥30,000－	
※振込先（いずれかの銀行に○をする）	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859
※依頼人（志願者） ※募集区分	741	
（フリガナ）		
氏名		
令和７年度　琉球大学　検定料 医学研究科（博士課程）		

取扱金融機関収納印

（取扱店→振込人→大学）

（大学提出時に切離し）

振込金（兼手数料）領収書

※依頼日	年　月　日		手数料
振込金額	¥3000円		
※振込先（いずれかの銀行に○をする）	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711	
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366	
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358	
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859	
受取人口座名	国立大学法人 琉球大学		
※依頼人（志願者）	（フリガナ）		
	氏名		
令和７年度　琉球大学　検定料 医学研究科（博士課程）			

上記のとおり領収しました

取扱金融機関収納印

（取扱店→振込人）

取扱店へのお願い
○太枠内を打電してください。
○募集区分、フリガナの順に打電してください。

（振込時金融機関で切離し）

振込依頼書 電信扱

勘定科目			
※依頼日	年　月　日	振込指定 電信扱	手数料
※振込先（いずれかの銀行に○をする）	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711	金額 ¥3000円
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366	内訳 現金
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358	
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859	
受取人口座名	コクリツダイガクホウジン　リュウキュウダイガク 国立大学法人 琉球大学		
※依頼人（志願者） ※募集区分	741	※フリガナ	
	※氏名		
	※（住所） （電話番号）		
備考	令和７年度　琉球大学　検定料 医学研究科（博士課程）		
	【振込期間】		
	[1次募集]	令和６年７月２４日（水）から 令和６年８月　７日（水）まで	
	[2次募集]	令和７年１月１４日（火）から 令和７年１月２８日（火）まで	

取扱金融機関収納印

（取扱店用）